

忠生中学校だより

げんとう かぜ
原頭の風

—2024年度 第3号—



2024年6月14日発行

子どもの数は命の数～生徒が主役で
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



なぜ勉強するのか？

校長 高橋 博幸

梅雨の候、月の大半が雨期に入る時節になりました。それにしても、今週は30度をこえる暑い日が続きました。熱中症の未然防止や体調管理に十分気を付けたいものです。

さて、今月は「なぜ勉強するのか？」と題してお話をします。(6月10日(月)の全校朝礼校長講話より)

おはようございます。6月は梅雨の季節です。気温も上がり湿度も高くなりますので、こまめな水分補給を行うなど、熱中症にも注意しましょう。

また、「早寝・早起きをすること」「三度の食事、特に朝ご飯をしっかりとること」「適度な運動をすること」などをして、健康管理に十分注意して過ごしてほしいと思います。

さて、ずいぶん前になりますが、私が小学校の校長先生をしているときのお話です。小学生から「**なぜ勉強しないといけないの？**」という質問を受けたことがあります。とても重要なことなので、中学生のみなさんにもお答えします。まず、みなさんは夢をもっていますか？

夢をもっている人はそれを実現するために一生懸命に勉強をします。夢というのは、表現を変えれば、「自分はこういう人間になりたい」ということです。例えば、電車の運転手になりたい、お医者さんになりたい、スポーツ選手になりたい…。夢をもっていない人は、自分が何になりたいか、これから探ることになります。探し方はあります。一番簡単な探し方は、学校で習う国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭科、英語、総合的な学習、特別の教科道徳などを全力で勉強することです。一生懸命に取り組むと、自分の好きな科目や得意な科目が分かってきます。勉強してみることで、自分のもっている大切な宝物、個性が発見できるのです。簡単だけど大変です。なぜなら、中途半端だったりいい加減な気持ちだったりでは、発見できません。大事なことは全力でやってみることです。人はなぜ勉強するのか。

一つの答えは、夢を発見するため、夢を実現するためです。

6月19日(水)から第1回定期考査が始まります。計画的にテスト勉強に取り組み、自分の夢や、やりたいことを見つけてください。

最後に、もう一つお話しします。6月は「ふれあい月間」です。ふれあい月間とは、「人とのふれあいを大切にする。つまり、お互い相手の立場を考えながら行動し、人間関係をよくしていこう」という月間です。人と人との関係をよくしてほしいと思います。



来週の水曜日(6月19日)から3日間、期末考査があります。1年生は初めての定期考査になります。私は、毎日、各教室を巡回して授業の様子を見ていますが、どの学年の生徒も授業に集中して熱心に取り組んでいます。特に、3年生の授業に取り組む姿勢は立派です。生徒たちが目標を設定し、試験に向け、計画的に家庭学習に取り組んでいる姿を嬉しく思います。保護者や地域の皆様、頑張っている本校の生徒への励ましの言葉や応援をよろしく願いいたします。

◎ 体育大会スローガンの百花繚乱（ひゃっかりょうらん）を達成できました

5月25日（土）、体育大会が開催されました。天候にも恵まれ、すべての競技を無事行うことができました。受付での集計となりますが、当日はのべ2,001名というたくさんの方々のご来校くださり、競技や応援に全力で取り組む生徒たちに温かなご声援をいただきました。本当にありがとうございました。

体育大会当日まで全学級がそれぞれ一つにまとまって練習に取り組んでいました。特に3年生は、心をつにして下級生を引っ張って全力で取り組んでくれました。競技練習やクラス旗作製でも、きっと各学級で紆余曲折はあったと思います。しかし、それを互いの力で乗り越え、当日、一生懸命に走って、跳んで、友達に全力で声援を送った生徒たちは「全力で取り組むこと」や「仲間のために頑張ること」の素晴らしさを実感してくれたことと思います。同時に、学級内のつながりはもちろんのこと、学年や学校全体のつながりもしっかりとできたと感じています。今回の成長をこれからの学校生活でも活かし、その力を発揮して行ってほしいと思います。

改めまして、ご多用の中、当日までの準備や当日のお手伝い等にご協力をいただきましたPTA役員をはじめとする保護者の皆様、地域の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



◎ 3週間にわたる教育実習が終わりました

5月13日（月）から、教育実習生として本校で教育活動に参加していた4名の教育実習生の先生たちが、5月31日（金）に3週間の実習を終えました。

教育実習生の先生たちは、とても熱心に教材研究をし、生徒と楽しそうに会話している姿がよく見られました。教育実習生の先生にとっても、将来、教員になるにあたって良い経験になったようです。この度、忠生中学校での教育実習を体験しての感想を4名の教育実習生の先生たちに書いていただきましたので、お読みください。

Tさん

【英語科 1年 担当】



忠生中学校のみなさんへ

私は、3週間の教育実習で多くのことを学びました。その中でも、特に印象に残ったことは、生徒との関わり方についてです。

今回の実習では、学年問わず多くの生徒と関わることができました。その中で生徒と良い関係を築くためには、生徒を良く観察し、生徒一人一人に合ったコミュニケーションを取ることが必要であると感じました。生徒は、一人ひとり異なるパーソナルスペースを持っています。そのため、すべての生徒に同じようなコミュニケーション方法を取ってもうまくいきません。

そこで、まずは生徒一人一人を観察し、その上で生徒一人一人に合ったコミュニケーションを取ることが大切であると感じました。忠生中学校のみなさんは、何事にも一生懸命で学年問わず協力することができます。特に体育大会では、3年生を先頭に学年の垣根を越えて、協力して一生懸命になっている姿が非常にかっこよかったです。

これから大変なこともでてくるかもしれませんが、自分を信じて、仲間を信じて、また歩みを進めてみてください。忠生中のみなさんなら、大丈夫です。必ず乗り越えることができます。改めまして、3週間本当にありがとうございました。



Sさん

【数学科 2年 担当】



忠生中学校のみなさんへ

2年6組で3週間過ごしました、数学科のSです。楽しく、充実した3週間ありがとうございました。忠生中学校で過ごす毎日が楽しく、学校に行くことが楽しみで3週間で過ごしていました。

体育大会当日・準備期間では、忠生中学校の生徒の良い所をたくさん見ることができました。準備期間は、実行委員を中心に、競技でもっと上の順位を目指すための試行錯誤をしたり、各係の仕事を全うしたりする姿勢を見ることができました。

当日は、クラス・団のために必死に頑張る姿勢や仲間を鼓舞する姿勢を見ることができました。体育大会を通じて、忠生中学校の生徒は仲間を思いやることのできる集団だと感じました。また、普段の生活でも明るく元気で素直な生徒が多く、たくさんの生徒が私を助けてくれました。

これからも仲間を大切に日々の生活・行事を頑張ってください。

充実した3週間、ありがとうございました。



Sさん

【保健体育科 2年 担当】



忠生中学校のみなさんへ

こんにちは！3週間教育実習生としてお世話になりましたSです！

3週間みなさんと過ごした学校生活がすぎて、もう1週間も経ちました。4週間前は震えながらみんなの前に立って自己紹介をしたなあとか、保健体育の授業で緊張しすぎて、生徒のみんなに助けられたなあとか、レイアップシュートのお手本をカッコよく決めるつもりが盛大にミスしてしまったなあとかここには書ききれないくらいたくさん忠生中学校での思い出が蘇ってきます。

体育大会では、最後の体育大会を全力で楽しみ、かっこいい姿を後輩にたくさん見せていた三年生。二回目の体育大会いろんなことに葛藤しながらも初めてできた後輩にかっこいい姿を見せていた二年生。初めての体育大会で右も左もわからない状態から本番では全力で取り組んでいた一年生。全員が一つになって作り上げてきた最高の体育大会一緒に参加できてほんとによかったです！

最後に体調には気をつけて過ごしてください！3週間とても楽しい日々を送らせてくれてありがとうございました！



Sさん

【保健体育科 1年 担当】



忠生中学校のみなさんへ

教育実習にてお世話になりました、T大学のSです。3週間ありがとうございました。1年生の皆さんは、体育の授業で沢山関わりを持たせてもらいました。

私の授業はなかなか上手くいかずに皆さんに迷惑をかけたこともありました。しかし、1年生の皆さんが一生懸命動いてくれたおかげで、私は成長することができたと思います。ありがとうございました。

2・3年生の皆さんも、体育大会の練習や廊下ですれ違った際に、声をかけてくれました。長くお話しできる機会は少なかったですが、とても嬉しかったです。

3週間という短い期間でしたが、温かく、一生懸命頑張れる生徒が沢山いる忠生中学校のことが大好きになりました。中学校生活は、テスト、行事、クラス、部活など、様々な場面で壁にぶつかる時があります。そんな時でも、忠生中学校の生徒なら壁を越えて成長できると思います。辛いときには、周りにいる仲間、先生、家族、地域の方々を頼りながら、成長してほしいです。3週間本当にありがとうございました。



◎ 落語教室～講師は「笑点」にレギュラー出演の立川晴の輔師匠です～

6月4日（火）に「表現力の育成」をねらいとして落語教室を実施しました。テレビの「笑点」にレギュラー出演している立川晴の輔師匠を講師に迎えました。

2校時に3学年、4校時に2学年、5校時に1学年の生徒が、古典芸能としての落語の魅力を存分に体験しました。司会はA先生、音響はT先生が担当してくれました。

生徒の皆さんは、初めて生で見る落語に大笑いしていました。笑いの中にも「聞こえる」よりも「聞く」ことで内容を深く理解できるというお話や、自由に「想像力」を発揮することの大切さを話されました。また、本格的な落語「桃太郎」と「松竹梅」の2席を披露してくださいました。

実技指導では、1学年の各クラスの代表が小唄を披露し、生徒や先生、保護者、地域の皆さんから大きな拍手を浴びていました。立川晴の輔師匠、ありがとうございました。



◎ 全校朝礼が行われました

6月10日（月）8時30分から体育館棟のアリーナで全校朝礼が行われました。はじめに校長先生から、「なぜ勉強するのか？」と題してのお話がありました。次に、生活指導主任のF先生から、「時を守り（メリハリをつける、朝読書）、場を整え（机の中、ロッカー、掃除）、授業に集中する（聴く事を大事に）」などについての生活指導面のお話がありました。

最後に、生徒会長のYさんから、「生徒会役員選挙」と「セーター登校」、「ジャージ登下校選択制」、そして、今回のルール改訂についてのお話がありました。生徒の発案と議論によって実現したルールを、生徒みんなを守っていきましょう。

